



大 幼



親子で ENJOY

親子 PTA が透き通った青空の下で開催されました。体を動かしながら親子で語らいを楽しめる時間となりました。

このアドベンチャーワールドには、挑戦といったたくましい一面とふれあいという温もりの一面があったと思います。この2つの面は、子どもを大きく成長させる時にとても大切したい接し方です。子どもたちは、日頃にも増して活発に遊んでいました。きっと、この夢のある環境と親が傍にいる安心感で、心躍らされたのだと思います。

改めて、このような機会を与えてくれた PTA の方々に感謝の意を表しつつ、今後もこのような活動的な取組が附属幼稚園の宝になることを期待しています。



いらっしゃい！すくすくのお友だち

11月18日(金)のすくすくひろばには、たくさんの未就園児が集まってくれました。今回は、幼稚園児といっしょに遊ぶ活動が中心でした。年長さんが準備してくれた「ゆりきく わくわく どうぶつえん」には、多くの子が来て、手作り動物に餌をあげたり、動物に乗ったりしながら遊園地さながらに楽しめていました。

年長さんは、前日17日(木)に小学1年生に招待されてゲストとして優しくされた経験をもとに、今度はホストとして関わっていました。この取組は、附属校園の連携の1つであると共に、大分県のモデル校園として高い価値を実感しました。

秋の収穫祭にはどんな意味があるの？



食べ物のおいしい季節とは言えば、なんといっても秋と答える人が多いでしょう。秋には、たくさんの収穫期を迎える食料があることで食料の恵みに感謝をしたり、これからの豊作を祈ったりする儀式やお祭りが各地で開かれています。今や仮装が主役のハロウィンもそれにあたるようです。

さて、本園でも収穫の秋を迎え、1学期に植えたサツマイモの収穫体験と食育の一環として焼き芋を食べました。子どもたちが、「おいしくな一れ、おいしくな一れ」という掛け声がお芋まで届いたので、しっとり甘いお芋に変身したのです。

「園長先生、お母さんにも食べさせたい。」と愛情たっぷりの蜜を感じた一言も飛び出し、ホックリ・ホックリした焼き芋体験となりました。